

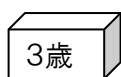
先日の参観保護者会ありがとうございました。子どもたちの「うれしい」が見られて良かったです。親子降園で一緒に帰れたのも年少さんたちにとっては不安になる要素ゼロだったようです。不安要素といえば再びやってくる夏マスクです。特に先生たちは簡単に外すわけにはいかないのが大変です。ワクチン接種がどんどん進んだからといってマスクなしとはならないでしょう。上手に乗り切っていくしかなさそうです。

6月すぐにやってくるのは年長の遠足ですが、5月いっぱい森林公園は閉鎖なので微妙なところ。しかも雨天の場合は中止です、延期ではありません。延期での日程が組めるのが10～11月だったのですが、観光業はその頃にはとくにコロナは収束しているとの見方をしているため観光バスの予約はいっばいで予備日はまったく取れませんでした。観光業界も観光したい人も、それだけ今ガマンをして、それだけその時を期待しているのがよくわかります。もちろん人々がそれを待ち望んでいます。以前の通りの平常、当たり前だった日常が戻ってくるのか、新しい日常が当たり前の中になるのか、振り返ってこの1～2年間で後々どういった位置づけになるのでしょうか。

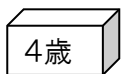
そんなことを憂いて生きていないのが子どもたちの特典で、今現在を精一杯過ごすのが子どもたちの役目です。ですが彼らだってその日その日のみで生きているわけではありません。その日一日を振り返ることってけっこう大切です。朝の会やお弁当の時間、帰りの会での自分の話や他者の話を聞いて、できたことややりたかったこと、楽しかったことなど自分のその日を改めて確認することで、明日やりたいことや明日への期待につながっていくのです。要はその日が忘れたままにならないことが大事で、それはきっと、いつかどこかの場面で思い出されるでしょうし、それが希望や経験値となって大きく膨らむことでしょう。

子どもたちと同様、世の中も、せめて過去（今日）を良いカタチで残す、と明日、それ以降へちゃんと道ができていくのだと思います。

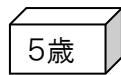
*速報・・・緊急事態宣言延長の為、森林公園引き続き閉鎖決定。園で楽しいことやろう！



- ・園での生活のしかたや流れがわかり、できることは自分でやろうとする気持ちが
見られる。
- ・保育者に親しみ、自分の要求や気持ちを表す。(ぼくも！わたしも！)
- ・道具や遊びを媒介にしながら仲間の存在を知る。



- ・集団生活への抵抗がほぼなくなる。
- ・クラスの大部分の子どもを知っている。(名前やマーク、どんな遊びをしている)
- ・グループ単位の中で自由に会話ができる。



- ・集団の一員としての意識を持って行動できる。
(その中で自分が何をすることがわかっている)
- ・互いの力量、よさなどが認め合える。
- ・どんなメンバーの中でも自分の要求が言える。